

- 問1 室町時代に、団結した農民たちが、重い年貢などに反対して起こした反乱のことを何といいますか。
- 問2 室町時代に活躍した人物で、中国から帰国した後に、墨の濃淡だけで風景や生き物を表現する「水墨画」を日本独自のものとして完成させた人はだれでしょう。
- 問3 鎌倉時代に登場した「新しい仏教」が、武士や農民の間に広く受け入れられたのはなぜですか。
- 問4 中世の時代に、各地で「定期市」が作られるようになったきっかけは何ですか。
- 問5 朝廷が幕府をたおそうとして起こした戦いで、幕府側の御家人たちが朝廷の軍を打ち破ったできごとは何ですか。
- 問6 室町時代に生まれた文化のうち、能の合間に演じられた、庶民の生活などをユーモラスに描いた劇を何といいますか。
- 問7 吉田兼好が書いた「徒然草」は、何時代に書かれた随筆ですか。
- 問8 3代将軍の足利義満が金閣を建てたのは、京都のどこですか。
- 問9 3代将軍の足利義満が、京都の北山に建てた建物は何ですか。
- 問10 源義経が率いる源氏の軍が、平氏を追いつめてほろぼした山口県にある場所はどこですか。
- 問11 源頼朝の弟で、源氏の軍を率いて平氏を西国に追いつめ、壇ノ浦でほろぼした人物はだれですか。
- 問12 源頼朝の妻で、頼朝が亡くなったあとに、朝廷が幕府をたおそうとしておこした承久の乱のときに、御家人たちを団結させた人物はだれですか。
- 問13 元（げん）が2回目の来襲（らいしゅう）をしてくることにそなえて、幕府が海岸沿いなどに築かせた、守りのための石の壁を何といいますか。
- 問14 源頼朝が1192年に朝廷から任命され、鎌倉幕府を開くことになった役職は何ですか。
- 問15 室町幕府の3代将軍である足利義満が、明（中国）との間で行って大きな利益を得た貿易を何といいますか。
- 問16 朝廷が幕府をたおそうとして起こした戦いにおいて、幕府側の御家人たちが団結して朝廷の軍を打ち破るきっかけとなった、うったえをおこなった人物はだれですか。
- 問17 源頼朝が国ごとに置いた役職で、御家人の取りしまりや軍事、警察などを行ったものは何ですか。
- 問18 8代将軍の足利義政のときにおこった「応仁の乱」は、その後の社会にどのような影響を与えましたか。
- 問19 将軍と御家人は、どのような関係で強く結びついていましたか。
- 問20 一向一揆は、どのような人たちが団結して起こした一揆ですか。
- 問21 源頼朝が荘園などの私有地に置き、税の取り立てや荘園の取りしまりなどを行った役職は何ですか。
- 問22 鎌倉幕府がつくった「御成敗式目」は、何をおこなうときの基準として定められた法律ですか。
- 問23 源頼朝が鎌倉に開いた、武士の政権を何といいますか。

- 問1 室町幕府の3代将軍で、中国の明（みん）との貿易を行い、京都の北山に金閣を建てた人物はだれですか。
- 問2 書院造の具体的な特徴として、ふすまや障子、畳などが使われていることがあげられますが、これは現代の何のもとになったものですか。
- 問3 鎌倉時代に広まった、わかりやすい教えを持ち、武士や農民の間に広がった仏教のことを何と呼びますか。
- 問4 室町文化において、茶の湯や生け花が単なる楽しみ以外に大切にされていたのはなぜですか。
- 問5 鎌倉時代の力強い文化を代表する彫刻である金剛力士像は、どこのお寺の南大門にありますか。
- 問6 源頼朝が鎌倉に開いた、武士の政権を何といいますか。
- 問7 源頼朝が置いた「地頭」は、どのような場所に置かれましたか。
- 問8 14世紀に、足利尊氏（あしかがたかうじ）が京都に開いた幕府を何といいますか。
- 問9 室町時代から戦国時代にかけて見られた、実力のある者が、上の身分の者にとって代わる動きや風潮のことを何といいますか。
- 問10 北条時宗が元軍との戦いに備えて、守りを固めるために武士たちに築かせたものは何ですか。
- 問11 鎌倉時代に始まった二毛作は、主に日本のどの地域で行われましたか。
- 問12 室町時代に広まった「下剋上」とは、どのような動きや風潮のことですか。
- 問13 鎌倉時代に、吉田兼好（兼好法師）によって書かれた随筆は何ですか。
- 問14 源頼朝が鎌倉幕府を開いてから、鎌倉幕府がたおれるまでの約140年間のことを何といいますか。
- 問15 室町時代に始まった「狂言」とは、どのような劇ですか。
- 問16 源平の戦いのようすを描いた、中世に作られた有名な物語は何ですか。
- 問17 浄土真宗（一向宗）の信者たちが、みんなで団結して起こした一揆のことを何といいますか。
- 問18 足利義政が将軍だったころ、京都で大きな戦乱が起こり、町が荒れてしまいました。この戦乱を何といいますか。
- 問19 源頼朝が国ごとに置いた役職で、御家人の取りしまりや軍事、警察などを行ったものは何ですか。
- 問20 1274年と1281年の2度にわたって、元（モンゴル）が九州北部に攻めてきた出来事を何といいますか。
- 問21 源頼朝の弟で、源氏の軍を率いて平氏を西国に追いつめ、壇ノ浦でほろぼした人物はだれですか。
- 問22 中世の時代に、各地で「定期市」が作られるようになったきっかけは何ですか。
- 問23 3代将軍の足利義満が、明（中国）との間で勘合貿易を行った主な目的は何ですか。
- 問24 鎌倉幕府がつくった「御成敗式目」は、何をとおこなうときの基準として定められた法律ですか。
- 問25 平家物語は、どのような人たちによって人々に語り伝えられましたか。
- 問26 東大寺南大門にあり、鎌倉時代の力強い文化を代表する彫刻の名前は何ですか。

- 問1 元（げん）が2回目の来襲（らいしゅう）をしてくることにそなえて、幕府が海岸沿いなどに築かせた、守りのための石の壁を何といいますか。
- 問2 3代将軍の足利義満が、京都の北山に建てた建物は何ですか。
- 問3 鎌倉時代に、将軍の家来となった武士のことを何と呼びますか。
- 問4 鎌倉時代に、将軍を補佐して政治を行うために置かれた役職は何ですか。
- 問5 室町文化において、茶の湯や生け花が単なる楽しみ以外に大切にされていたのはなぜですか。
- 問6 北条時宗が元軍との戦いに備えて、守りを固めるために武士たちに築かせたものは何ですか。
- 問7 室町幕府の将軍たちが、政治だけでなく寺院の建立や文化の保護に力を入れたことで、どのような影響がありましたか。
- 問8 足利義満が中国の明との貿易を始めた大きな目的は何だと考えられますか。
- 問9 朝廷が幕府をたおそうとして起こした戦いにおいて、幕府側の御家人たちが団結して朝廷の軍を打ち破るきっかけとなった、うったえをおこなった人物はだれですか。
- 問10 室町時代に雪舟によって大成された、墨の濃淡で描かれた絵画を何といいますか。
- 問11 室町幕府の3代将軍で、中国の明（みん）との貿易を行い、京都の北山に金閣を建てた人物はだれですか。
- 問12 一向一揆は、どのような人たちが団結して起こした一揆ですか。
- 問13 東大寺南大門にあり、鎌倉時代の力強い文化を代表する彫刻の名前は何ですか。
- 問14 鎌倉時代に西日本で始まった、稲を刈り取ったあとの田畑で麦などをつくる農業の方法を何といいますか。
- 問15 平氏をたおすために兵をあげ、1192年に征夷大將軍に任命されて鎌倉幕府を開いた人物はだれですか。
- 問16 日本に攻めてきた「元」は、もともとどこの地域の一部の人々が中国を支配してつくった国ですか。
- 問17 1274年と1281年の2度にわたって、元（モンゴル）が九州北部に攻めてきた出来事を何といいますか。
- 問18 室町時代に、父と子で協力して「能（のう）」という芸能を芸術として完成させた二人の人物はだれでしょう。
- 問19 鎌倉時代に登場した「新しい仏教」が、武士や農民の間に広く受け入れられたのはなぜですか。
- 問20 源頼朝が鎌倉に開いた、武士の政権を何といいますか。
- 問21 室町時代に生まれた文化のうち、能の合間に演じられた、庶民の生活などをユーモラスに描いた劇を何といいますか。
- 問22 室町時代に大成された伝統芸能である「能」は、劇の中でどのようなものを用いて演じる特徴がありますか。
- 問23 商業が盛んになるにつれて、各地で決まった日に開かれるようになった市場を何といいますか。
- 問24 13世紀に中国を支配し、日本も支配しようとして攻めてきた国はどこですか。

- 問1 室町時代に活躍した人物で、中国から帰国した後に、墨の濃淡だけで風景や生き物を表現する「水墨画」を日本独自のものとして完成させた人はだれでしょう。
- 問2 13世紀に中国を支配し、日本も支配しようとして攻めてきた国はどこですか。
- 問3 源頼朝が鎌倉に開いた、武士の政権を何といいますか。
- 問4 室町時代に、団結した農民たちが、重い年貢などに反対して起こした反乱のことを何といいますか。
- 問5 鎌倉時代に始まった二毛作は、主に日本のどの地域で行われましたか。
- 問6 1467年に京都で始まり、有力な大名たちが11年もの間、争い続けた戦いを何といいますか。
- 問7 足利義政が將軍だったころ、京都で大きな戦乱が起こり、町が荒れてしまいました。この戦乱を何といいますか。
- 問8 鎌倉時代に、吉田兼好（兼好法師）によって書かれた随筆は何ですか。
- 問9 鎌倉時代に広まった、わかりやすい教えを持ち、武士や農民の間に広がった仏教のことを何と呼びますか。
- 問10 3代將軍の足利義満が、明（中国）との間で勘合貿易を行った主な目的は何ですか。
- 問11 日本に攻めてきた「元」は、もともとどこの地域の一部の人々が中国を支配してつくった国ですか。
- 問12 平氏をたおすために兵をあげ、1192年に征夷大將軍に任命されて鎌倉幕府を開いた人物はだれですか。
- 問13 室町幕府の3代將軍で、中国の明（みん）との貿易を行い、京都の北山に金閣を建てた人物はだれですか。
- 問14 室町時代に雪舟によって大成された、墨の濃淡で描かれた絵画を何といいますか。
- 問15 室町時代に観阿弥・世阿弥の父子によって大成された、仮面などを用いて演じる伝統芸能は何ですか。
- 問16 室町幕府の8代將軍で、京都の東山に「銀閣」を建て、独自の文化を広めた人物はだれでしょう。
- 問17 一向一揆は、どのような人たちが団結して起こした一揆ですか。
- 問18 銀閣の敷地内にある東求堂に見られる、ふすまや障子、畳などが使われた、現代の和室のもとになった建築様式を何といいますか。
- 問19 平家物語は、どのような人たちによって人々に語り伝えられましたか。
- 問20 東大寺南大門にあり、鎌倉時代の力強い文化を代表する彫刻の名前は何か。
- 問21 將軍と御家人は、どのような関係で強く結びついていましたか。
- 問22 鎌倉時代の力強い文化を代表する彫刻である金剛力士像は、どこのお寺の南大門にありますか。
- 問23 室町時代に広まった「下剋上」とは、どのような動きや風潮のことですか。
- 問24 守護大名とは、どのような幕府の時代に、どのような人が大きな力を持つようになったものですか。
- 問25 室町幕府の3代將軍である足利義満が、明（中国）との間で行って大きな利益を得た貿易を何といいますか。

- 問1 源頼朝が国ごとに置いた役職で、御家人の取りしまりや軍事、警察などを行ったものは何ですか。
- 問2 鎌倉時代に広まった、わかりやすい教えを持ち、武士や農民の間に広がった仏教のことを何と呼びますか。
- 問3 3代将軍の足利義満が、京都の北山に建てた建物は何ですか。
- 問4 源頼朝が鎌倉幕府を開いてから、鎌倉幕府がたおれるまでの約140年間のことを何といいますか。
- 問5 1274年と1281年の2度にわたって、元（モンゴル）が九州北部に攻めてきた出来事を何といいますか。
- 問6 14世紀に、足利尊氏（あしかがたかうじ）が京都に開いた幕府を何といいますか。
- 問7 源頼朝が荘園などの私有地に置き、税の取り立てや荘園の取りしまりなどを行った役職は何ですか。
- 問8 商業が盛んになるにつれて、各地で決まった日に開かれるようになった市場を何といいますか。
- 問9 室町時代に大成された伝統芸能である「能」は、劇の中でどのようなものを用いて演じる特徴がありますか。
- 問10 鎌倉幕府がつくった「御成敗式目」は、何をおこなうときの基準として定められた法律ですか。
- 問11 室町時代に始まった「狂言」とは、どのような劇ですか。
- 問12 室町幕府の3代将軍である足利義満が、明（中国）との間で行って大きな利益を得た貿易を何といいますか。
- 問13 8代将軍の足利義政のときにおこった「応仁の乱」は、その後の社会にどのような影響を与えましたか。
- 問14 13世紀に中国を支配し、日本も支配しようとして攻めてきた国はどこですか。
- 問15 室町幕府において、大きな力を持つようになった有力な守護のことを何と呼びますか。
- 問16 室町幕府の8代将軍で、京都の東山に「銀閣」を建て、独自の文化を広めた人物はだれでしょう。
- 問17 一向一揆は、どのような人たちが団結して起こした一揆ですか。
- 問18 室町時代から戦国時代にかけて見られた、実力のある者が、上の身分の者に取って代わる動きや風潮のことを何といいますか。
- 問19 室町時代に広まった「下剋上」とは、どのような動きや風潮のことですか。
- 問20 源頼朝の弟で、源氏の軍を率いて平氏を西国に追いつめ、壇ノ浦でほろぼした人物はだれですか。
- 問21 室町時代に生まれた文化のうち、能の合間に演じられた、庶民の生活などをユーモラスに描いた劇を何といいますか。
- 問22 源頼朝が鎌倉に開いた鎌倉幕府は、どのような人々による政権ですか。
- 問23 守護大名とは、どのような幕府の時代に、どのような人が大きな力を持つようになったものですか。
- 問24 源義経が率いる源氏の軍が、平氏を追いつめてほろぼした山口県にある場所はどこですか。
- 問25 鎌倉時代に、将軍の家来となった武士のことを何と呼びますか。
- 問26 東大寺南大門にあり、鎌倉時代の力強い文化を代表する彫刻の名前は何ですか。